



えが お

教育目標

進んで学ぶ子
思いやりのある子
笑顔はじける元気な子



真名子小HP

令和6年12月25日 発行

発行者 神宮司賢一郎

2学期が終わりました

79日間という1年間で一番長い学期を、無事に終了することができました。

振り返ると、運動会や持久走記録会といった大きな行事や、各学年で実施した校外学習、学力向上推進研究公開授業等、様々な活動や取組を通して、子ども達や教職員の学びが深まった期間となりました。



イチヨウの前で(5年生)

全ての教育活動において、子ども達が主体となって取り組めるよう支援していくことを心がけ、子ども達が成功体験を積み重ねていくことを大切にすることで成長を促せるよう支援させていただきました。その際、保護者や地域の皆様、各分野で活躍されている外部講師の方などにも御協力いただき、子ども達を指導・支援していただきました。改めて、御礼申し上げます。

来年の干支は『乙巳(きのと・み)』。諸説あると思いますが、『乙』は「困難があっても紆余曲折しながら進むことや、しなやかに伸びる草木」を表し、『巳』は蛇のイメージから「再生と変化」を意味するそうです。そして、この2つの組み合わせである『乙巳』には、「努力を重ね、物事を安定させていく」といった縁起のよさを表しているそうです。今学期の成長を基に、さらに努力を重ねて行き、来学期は有終の美を飾れるよう、子ども達と頑張っていきたいと思います。

(参考:ラクスルホームページ
<https://raksul.com/magazine/column/new-year-card-zodiac-2025/>)

校内持久走記録会

11月25日(月)、初冬らしい空気が澄んだ青空の中で、1周約170mのコースを周回する方法で

実施いたしました。長距離を走り抜くことで、健康の保持・増進や体力の向上、忍耐力を養い、くじけないで最後まで頑張る心を育むことをねらいとしました。また、大会では、練習時より1秒でも早い記録を出すよう、明確な目標を持たせることで向上心を養い、成就感や達成感を味わうことができるよう指導・支援しました。

1, 2年生は5周、3, 4年生は7周、5, 6年生は9周を走り、応援に来校していただいた保護者の皆様の声援にも後押しされ、最後まであきらめず、全力で完走することができました。

2年生 校外学習 (栃木市西方総合支所、西方図書館、道の駅にしかた)

11月26日(火)、2年生が生活科の「まちたんけん」として校外学習に出かけました。

最初に、西方総合支所を見学させていただきました。総合支所では、西方地区に住んでいる方のためにお仕事されていることを学びました。また、公民館の役割についても教えていただき、



1・2年生



3・4年生



5・6年生



西方総合支所



西方図書館



道の駅にしかた

地域の方に貸し出す部屋や西方地区の歴史が分かる展示室を見学させていただきました。次に、西方図書館に行きました。2万冊以上の本があることや一番大きな本、一番分厚い本なども見せていただきました。最後に、道の駅にしかたを見学しました。お土産や野菜などを売っているところや食事ができるところを順番に見学させていただきました。

子ども達は、自分が住んでいる西方地区の施設の見学を通して、地域のよさを感じ取ったようでした。

第2回学校運営協議会

12月2日(月)、第2回学校運営協議会を開催いたしました。

最初に、各学年の授業の様子を参観いただきました。「どの学年も落ち着いており、先生と子どもたちとの関係も良さそうですね。」という御感想をいただきました。

その後の協議では、「めざす児童像」の進捗状況や学校評価について報告させていただき、御意見等をうかがいました。いただいた御意見については教職員でも共有させていただき、今後の学校経営に生かしていきたいと思っております。(この協議会の議事録は、学校ホームページで御確認いただけます。)



授業参観の様子



協議の様子

5・6年生 プログラミング教室

12月13日(金)、5,6年生がプログラミング教室を行いました。講師として、栃木工業高等学校の生徒さん7名をお招きしての授業となりました。

プログラミング教育は、あらゆる活動においてコンピュータ等を活用することが求められる。これからの社会を生きていく子ども達にとって、将来どのような職業に就くとしても、極めて重要なこととして推奨され、「情報活用能力」の育成や情報手段(ICT)を適切に活用した学習活動の充実を進める中に適切に位置付けることが求

められています。本校ではそのプログラミング教育の一環として、本教室を実施いたしました。

授業は、栃木工業高オリジナルのキットを使って進められました。プログラムを入力するのに必要となるタイピングの練習やLEDを光らせたり簡単なゲームができたりするプログラムの入力、黒い線の上をキャタピラが付いた車を走らせるためのプログラムの入力などを体験しました。



体育館シューズについて

体育館で運動を行う際に履くことを目的として、御準備いただいていた体育館シューズについて、3学期からは使用を取りやめたいと考えてます。

主な理由としては、

- ・上履きとは別にもう一足準備していただく御負担を無くすこと
- ・校舎内で履いている上履きでも十分な運動ができ安全性も確保できること

が挙げられます。

お子様には体育館シューズを持ち帰らせます。なお、上履きは「白」とさせていただきますが、使用していた体育館シューズを上履きとして利用していただいても結構です。

ご不明な点がございましたら担任までお問い合わせください。



「あたり前のことを当たり前でできる真名子っ子」